

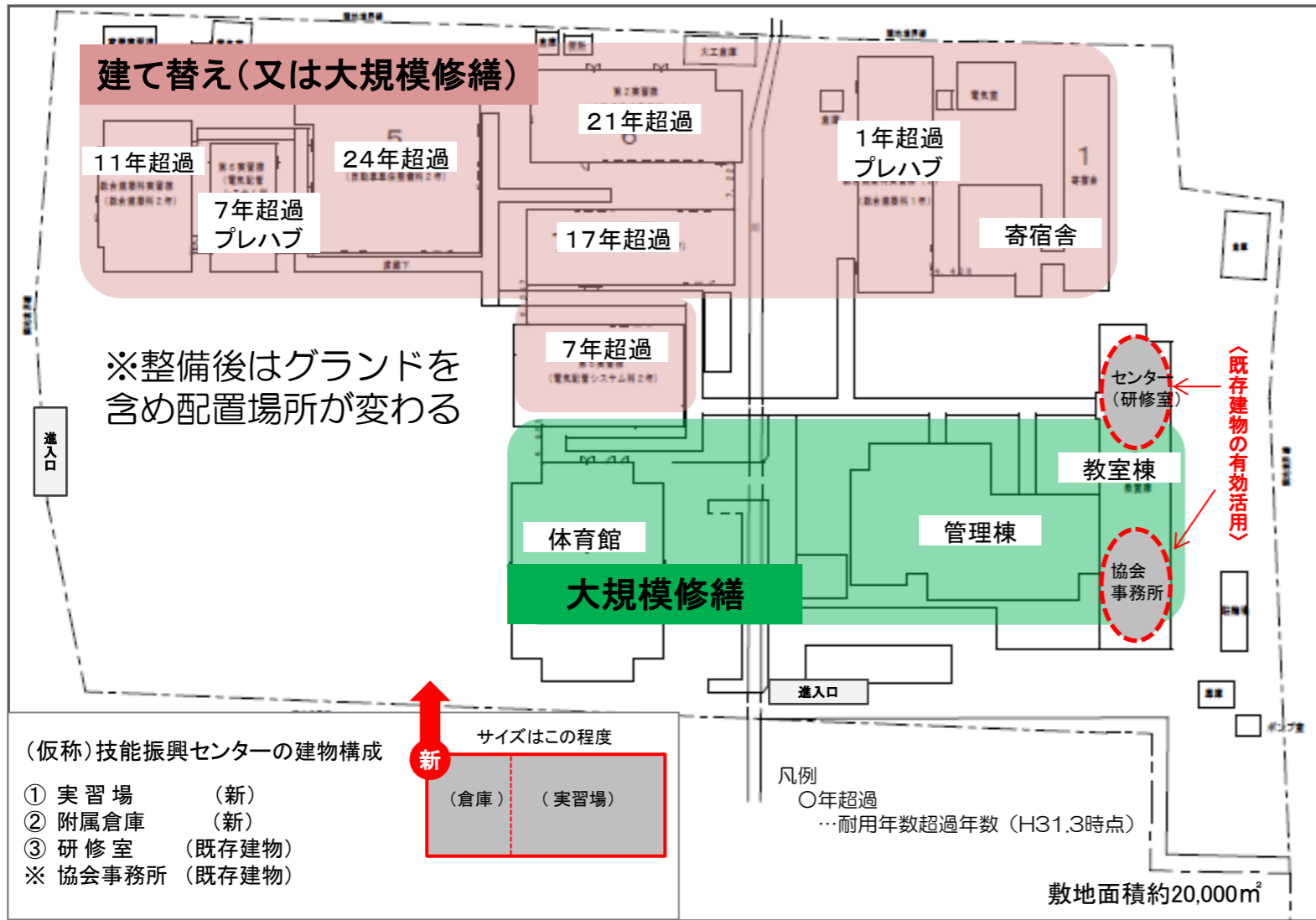
県立高等技術専門校及び(仮称)技能振興センターに関する今後の方向性(案)

建物が老朽化し再整備が必要な県立高等技術専門校(熊本市南区)について、平成29年度から同校を技術短期大学校(菊陽町)隣接地に移転することも選択肢の一つとして様々な面を総合的に検討した結果、次の方向とすることがベストと判断した。

平成32年度(2020年度)に基本設計に着手することを目標に、平成31年度はソフト面とハード面について具体的検討を進める。

- 県立高等技術専門校を現在地で再整備
- 技能検定試験会場等として(仮称)技能振興センターを同校敷地内に設置
- 熊本県職業能力開発協会(事務所)を敷地内に招致し、一体的に産業人材育成に取り組む

専門校配置図(再整備内容)



老朽化対策+訓練の充実

県立高等技術専門校

施設内訓練(3科)、販売実務科
離職者委託訓練、障がい者委託訓練

招致

熊本県職業能力開発協会

- 技能検定試験の効率化による人材育成事業の充実
- ものづくりマスター派遣、技能振興
- ビジネスキャリア検定
- 県内の人材育成情報の発信

新

技能振興センター

- 増加する検定受検者に対応する安定的試験実施基盤の確保
- 研修の場の提供(企業への支援)
- 在職者訓練の充実(ニーズ対応型訓練)



県民生活、地域産業に必要な
技能士等の確保と質の向上

今後の作業スケジュール(予定)

【平成31年度】

ソフト面

有識者や関係団体による検討委員会を設置し、専門校各訓練科の訓練内容の充実や(仮称)技能振興センター設置による産業人材育成施策の充実等を検討する。

ハード面

専門校の各建物の再整備及び(仮称)技能振興センターの整備に係る設計委託を行うために必要な与条件整理等を行う。

【年度毎の目標スケジュール】

区分	H30 (第4四半期)	H31	H32	H33	H34
	2018	2019	2020	2021	2022
検討委員会開催	●	●			
ハード基本構想作成委託		●			
基本設計・実施設計			●	●	
工事着手(工期H34~38頃)					●

※ 概算事業費はH31年度作業で、最終的な事業費は実施設計段階で算出。

(仮称)技能振興センター設置による産業人材育成施策の展開(充実)

技能検定試験会場としての使用

効果

- ◎ 検定レベルの維持、安定的な検定試験の実施(外国人材含)
- ◎ 団体等の試験機材保管運搬負担解消
- ◎ 検定委員の負担軽減
- ◎ 試験関係資料の管理体制の強化
- ◎ 県協会の検定事務効率化

研修の場の提供

- ◎ 企業・団体が実施する講習等への会場提供
(=企業支援)

県の在職者訓練の充実

- ◎ 専門校の在職者訓練の充実
(ニーズ対応型訓練)
(=企業支援)

県職業能力開発協会の自主事業

- ◎ 県協会の自主事業の展開(充実)
・各種人材育成講習、研修の拡大
・小中学生等への熟練技能者等による、ものづくり体験学習 など

